

島根県立安来高校 校長 柳樂 眞悟

4週間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。全国的に異常気象が続き、各地で災害が発生する中、皆さんが元気な姿で登校できたことをまずは喜びたいと思います。

1学期の終業式では2つのことをお話ししました。安高のグランドデザインについてと運についてです。グランドデザインについて、「きびしく 高く 美しく」を身につけた自我の基盤を築くために、感じ、身につけ、考え、表現することを大切にして欲しいということ。また運については運を引き寄せるような行動をして欲しいということをお話ししました。長い夏休み中に、様々な体験をする機会があったと思います。こういったことを意識して活動できたでしょうか。振り返ってみて欲しいと思います。

この後、夏休み中の部活動等の報告がありますが、インターハイに参加した選手の数は県内高校でも上位だと思っています。インターハイをはじめ県内各種大会に参加した皆さんはそこから多くのことを学び、また反省点も見つかったことと思います。それらの学びを自分だけでとどめず、友人等と共有し安高全体での学びにし、全体で成長して欲しいと思います。

さて、2学期のスタートにあたり、今学期目指して欲しいことを2点お願いしたいと思います。

1点目。皆と協働しながら主体性を発揮して欲しいということです。まずは9月1日から始まる蒼輝祭。今年もコロナ禍で制約の多い状況の中、企画運営している生徒会執行部と協働し、皆さん全員が当事者意識を持って主体的に行動することで、統一テーマである皆さんの色「C o l o r」を出し合い、それらを融合させ、生徒全員で素晴らしいものを作り上げていってください。傍観者として批評するのではなく当事者として一緒に盛り上げて欲しいと思います。また蒼輝祭が終わると3年生は自らの進路に向かって、また1・2年生は部活動や生徒会活動など学校運営の中心として蒼輝祭で培った協働性と主体性を活かして成果をあげてくれることを期待しています。

2点目。コロナも感染が拡大し、あらゆる場面で自粛が求められています。しかしみんなに求めたいのは自粛ではなくもう一步踏み込んで自重です。違いがわかりますか。ネットで調べると「自粛」は「他者からの評価を気にして、自ら行いを控えること」、「自重」は「自分自身が問題を起こさないように、慎重な振る舞いをする」とありました。同じ「慎む」という行動でも、他者の存在やルールが介入する場合は「自粛」、そうでない場合、自分自身での判断モラルが必要なのが「自重」ということです。他者からの評価を気にしての自粛ではなく、一歩進んで状況を判断し自ら何を成すべきか成さざるべきか自分自身のモラルに頼った自重をお願いしたいと思います。2学期は様々な学校行事があったり就職・進学の試験が始まったり実りの学期です。その様々な教育活動が当たり前に行えるためには、各自がそれぞれの考えに従った正しい行動こそが求められています。全ての行動に「きびしく 高く 美しく」の教育目標を体現できる行動を目指して欲しいと思います。

1年の中で、最も長く忙しい2学期が始まります。忙しさに流されず、目標をしっかり見据えて、「きびしく 高く 美しく」実り多い2学期としてください。